

臼杵山山行報告（2019年8月11日（日））

参加者： 青柳、伊藤（L）、浦野、中島、三浦（5名）

行程： 8:55 武蔵五日市駅 9:00=（バス）=9:20 元郷 9:30-11:40 臼杵山北峰
-11:50 臼杵山山頂（842m） 昼食 12:25-13:50 荷田子峠 13:55-14:10 荷田子バス停
-14:30 瀬音の湯（入浴） 17:05=17:50 武蔵五日市 17:54=18:37 立川

今年の夏山山行（北アルプス燕岳-常念岳）も10日後にと近づいてきた。直前の足慣らし・汗慣らしとして、五日市近くの臼杵山（842m）に決めた。この山は標高こそ低いが上り下りとも結構急でしかもマイナー、おまけに下山後は「瀬音の湯」がある。

当日は8時55分に武蔵五日市駅改札口に5名が集合、浦野さんは初参加である。バス停には長い行列ができていますが、増便が2台も出たので座ることができた。

9時20分ごろ元郷のバス停で降りたのは我々だけ、支度をして9時30分に出発する。朝は雲が多かったが、歩き出すころには青空が広がって来た。民家の間を抜けて、ひと登りすると植林帯の中の山道に入る。杉の植林の中は直射日光は無いが、風も通らなく蒸し暑い。急傾斜の道を30分くらい登ると尾根に着き、涼しい風が吹いてきた。

かなり気温は高いが、直射日光がないのと風のおかげで比較的涼しい。それでも汗をたっぷりかきながら我慢の登りが続き、10時30分ごろ電波の中継塔に着いた。その後もあえぎながら急斜面を登って11時50分に臼杵山山頂に到着した。山頂には大きな山頂標識が建っていて、その手前が平地になっている。周りはほとんど樹林帯だが、東のほうの一部伐採されている。時間もちょうどよし、ここでお昼にした。

昼食後12時25分には下山、温泉とビールを目指して心なしか早足になる。山頂直下はかなりの急勾配を下らなければならない。慎重に下った後植林帯をしばらく下り、見晴らしの良い場所を過ぎてまたも樹林帯を下る。膝をかばいながら下るとはるか下に人家が見えてきて、13時50分に荷田子峠着。ここからは一気に下って14時10分荷田子バス停に着いた。アスファルトの照り返しがある暑い車道を歩いて14時30分「瀬音の湯」に着いた。

さっそく温泉に浸かってさっぱりと汗を流した後は、冷たいビールを飲んで、1時間半くらい話も楽しんだ。山行中2人にしか会わないという非常にマイナーな山で、思ったよりきつかったが、予定通りしっかり汗もかいてよかった、とまじめに反省した。

16時56分発のバスに乗りきれず増便に乗ったが、国道に出ると大渋滞している。通常であれば15分くらいのところを50分近くかかって、17時50分ごろ武蔵五日市駅に着いた。17時54分発の電車に乗り、拝島駅で2名と別れ、18時37分立川駅で解散した。

今回は晴れた「山の日」にややきつめでたっぷり汗をかき、温泉とビールを楽しむというトレーニングの趣旨に沿った理想的な山行であった。このトレーニングの成果を生かすためにも今度の北アルプスは是非天気にも恵まれたいものである。（伊藤）